

(表紙)
(所属コード 651425)

平成 30 年度

「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立豊里 小学校

校長 中島 英康

平成 30 年 4 月

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 1】

(所属コード 651425)

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

- 全国学力学習状況調査の結果は残念ながら算数・国語とも、大阪市平均を下回っており、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も押しなべて低い。しかし、校内に大きな荒れはなく、児童は学校生活や学習に対する取り組みは真面目に一生懸命に取り組んでいる。
- 児童質問紙やアンケートの結果から、自他の尊重や自尊心・自尊感情の成熟といった精神面、情緒面での未成熟さが顕著に表れている。そうした心の未成熟さが、学習や運動に対する取り組みにも大きく影響している。
- 遅刻、行きしぶり、不登校が多く、基本的な生活習慣の確立が求められる。全教職員が同じ姿勢で家庭へ啓発し児童への指導を進める必要がある。
- さまざまな取り組みを含め本校の学校運営に対して、保護者や地域は比較的高く評価してくれている。ただ、地域に対する帰属感は薄れ始め、それが地域の教育力の低下につながっている。

2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年 95 % 以上とする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成 32 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年前年度より減少させる。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)
- 年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)
- 平成 32 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)
- 平成 32 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)
- 平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を 90 % 以上にする。 (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成32年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より減少させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を平成28年度より向上させる。

(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策6 国際社会において生き抜く力の育成)

○平成32年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点で、大阪市平均を上回る。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

3 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む) ※運営に関する計画再掲

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

○平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上とする。 (施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○平成30年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○平成30年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

○平成30年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（78%）より向上させる。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成30年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より減少させる。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成30年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成30年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成30年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を80%以上にする。

(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成30年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より減少させる。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成30年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成30年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。

（施策7 健康や体力を保持増進する力の育成）

学校園の年度目標

○平成30年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

（施策6 国際社会において生き抜く力の育成）

○全国体力・運動能力、運動習慣調査の項目「長座体前屈」及び「50m走」について平成30年度末に全学年再調査を行い、その結果が大阪市平均を上回る。

（施策7 健康や体力を保持増進する力の育成）

○平成30年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。

（施策7 健康や体力を保持増進する力の育成）

4 29年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲

大阪市の共通目標9項目・学校園の年度目標8項目、計17項目の全てにおいて年度目標を達成することができた。

特に、全国学力経年調査の結果は、大阪市は言うに及ばず教科・分野によっては全国平均をもしのぐ結果となり、子ども達の基礎基本の学力がしっかりと定着してきたことがうかがわれる。また、校内に大きな荒れもなく、児童アンケートの結果からも、「自分にはいいところがある」と肯定的に回答する児童が78%に達し、子ども達の自尊感情の高まりを強く感じることができる一年の取り組みとなった。

5 30年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

6 事業執行管理体制名簿

学校長 (中島 英康)

教頭 (高橋 司)

学校事務職員 (高橋 愛美)

申請受付日	
指導部で記入	→ /

【様式 2 - 1】

(所属コード 651425)

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算 【**基本配付**】配付申請書

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 % 以上とする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（78 %）より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 30 年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（86 %）より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 30 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 30 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を 80 % 以上にする。 (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○ 基本的生活習慣の確立のために、学期ごとに『げんきアップウィーク』を設け、児童への意識づけを図るとともに、家庭にもフィードバックしていく。 指標 『げんきアップウィーク』の自己評価で、「早ね・早起き・朝ごはん」の項目の達成状況を80%以上にする。また、個人懇談時に家庭に啓発する。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○ 遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援・指導の方法を策定し、全職員で共通理解を図る。 指標 働きかけが継続的に行われるよう、生活指導部を中心に学期に1回連絡会を設定し、課題の整理と取組みの改善を図る。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 異学年交流やたてわり班活動を通して、コミュニケーションスキルを高めるとともに、利他の心構えをもつことができるようとする。 指標 児童集会での活動とともに、学期に1回、児童会の行事にたてわり班で主体的に活動する。	
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 児童会活動や学級活動等で、『豊里っ子宣言』につながる取組みを行い、児童が自己有用感を高めながら、明るく楽しい学校生活を送れるようにする。 指標 全児童が『豊里っ子宣言』が目指す学校づくりへの取り組みに1回以上参加する。	
取組内容⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○ 美化委員会が中心となって設定した美化目標を、集会やポスター掲示などで呼びかけ、学級ごとに、重点的に指導・実践していく。 指標 美化目標のふり返りを毎月行い、目標達成の児童の割合を80%以上にする。	
29年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> 重点期間に目標達成のための取り組みは予定通り行うことができた。また、職員各自で連携し、遅刻・不登校を減少させるための働きかけを継続することができ、改善が見られた。 集会等も含め、たて割り班での異学年交流を行うことができた。また、委員会活動や学級で児童が主体となった取り組みも行うことができた。 校内美化への取組みは、委員会を中心に行うことができた。また、美化目標についても、集会等で全児童に伝えることで清掃活動への意識が高まった。 	
30年度への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・不登校減少に向けて学校全体として取り組めるよう、児童や家庭に働きための連絡や方法を、全職員で共通理解できるような指針を策定していく必要がある。 児童が主体となる取り組みについては、どういった取り組みが望ましいかを職員が考えていく必要がある。 月ごとの美化目標のポスターを学級担任に渡すなど、学級単位での取り組みが定着するように連携を強化する必要がある。掃除場所のチェックについても、より効果的に行われるよう改善する必要がある。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度（今後）への改善点	

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標(小・中学校)	
○平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成29年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成30年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成29年度より減少させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成30年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成29年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成30年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成29年度より向上させる。 (施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	
学校の年度目標	
○平成30年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。 (施策6 国際社会において生き抜く力の育成)	
○全国体力・運動能力、運動習慣調査の項目「長座体前屈」及び「50m走」について平成30年度末に全学年再調査を行い、その結果が大阪市平均を上回る。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	
○平成30年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を80%以上にする。 (施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 習熟度別少人数学習の有効活用や「さんさんタイム」実施・ICTの活用などにより、基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組みを行う。	
指標○ ICT機器を活用する場面を週2回以上設定する。 ○ 各学年、各学級の実態に応じた「さんさんタイム」を週1回以上継続して行う。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 課題に対して一人ひとりが意見をもち、交流を通して考えを深め合う指導方法や指導材の工夫を行う。	
指標 各学年、年間1回以上の公開授業、討議会を通して授業内容の改善を図り、成果は紀要にまとめる。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 学校図書館・自動車文庫・学級文庫の活用や、ネット検索を活用した情報収集を行うなどし、授業に活用する。	
指標 学校図書館・自動車文庫・学級文庫の活用や、ネット検索を活用した情報収集を行う授業を、各学級年間2回以上行う。	
取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ○ さまざまな部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。	
指標○ 公開授業・討議会・実技研修会などを昨年度実績以上行う。 ○ 週2回以上ICT機器を活用した英語モジュールタイムを計画・実施していく。	
取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○ 児童の走力・柔軟性を高めるための運動を、体育の授業で行う。	
指標 全校で統一した、ストレッチや走力を高める運動「豊里エクササイズ」を、運動会・プール指導の時期を除いた体育の授業で行う。	
取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○ 児童の体力向上のため、休み時間の活動や遊びの工夫を行う。	
指標 全学級で、学期に1回以上、体育部より提案された多様な学級遊びや活動を休み時間に実践する。	
取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○ 給食週間や栄養指導等を通じて食への関心を高める。 ○ 手洗い重点週間を設けるなど手洗い指導を実践し、健康への関心を高める。	
指標○ 各クラスの年1回以上の栄養指導や、給食委員会で給食を残さず食べることをよびかける取り組みをするなど、活動を工夫する。 ○ 健康委員会による毎週の健康チェックや、年3回の重点週間を実施し、手洗いを意識づける。	
29年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<ul style="list-style-type: none"> モジュールタイム、教科学習などでのICT機器の活用場面は、どの学年でも週複数回の活用が認められる。さんさんタイムについても学級の実態に応じた取組みを進められた。学力向上の取組みとしては、話型やハンドサインが定着し、国語科だけでなく様々な学習場面で意見の相違を基にした意見交流が行われるようになった。また、予定した公開授業の他に、研究部やメンター研修での公開授業・討議会を行い、授業の改善を行った。図書館の集団貸出や学校図書館などの利用は、どの学年も年間最低2回は行ってきたが、図書での情報収集より、ICT機器を使った情報検索を利用することも多かった。公開授業や討議会だけでなく、実技研修会を昨年実績より多くもった。また、英語モジュールタイムだけでなく、英語のDVDの活用やALTによる各学年への講習など、分かりやすい授業のための研修や授業の創造を行い、英語に対して「楽しい」と肯定的な評価を行う児童が、90%を上回った。 体育科の授業で、次の学習への意欲を高めるためのふり返りを継続して行うことができた。給食週間、手洗い重点週間を計画的に行うことができたので、手洗いや、給食を残さず食べることなどへの意識が高まり、健康に対する意識が、学校全体で高まってきている。 	

30年度への改善点

- ・ I C T機器の活用を更に充実させていくためにも、ネット環境の整備をすすめていく。図書を活用した情報収集と共に、ネットを活用した情報収集についても授業に取り入れ、必要に応じた多様な情報収集の力を育てていく。
- ・ 家庭とも連携をとって、ハンカチなどの忘れ物をなくすようにする。また、なわとびギネス、耐寒かけ足をより効果的に実施できるような取組みも必要である。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度（今後）への改善点

【様式 2 - 2】

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算 【基本配付】配付申請書

学校申請額 1,650,000 円

※配付上限額(※円単位)

学校配当	学級数	学級配当	特別支援学級数	学級配当
350,000	+	20	×	50,000

配付上限額

$$= \boxed{1,650,000}$$

※本様式に加えて、様式 4-1 の提出が必要です。

◆取組内容・予算内訳

取組内容①【施策 2 道徳心・社会性の育成】

- 児童会活動や学級活動等で、『豊里っ子宣言』につながる取組みを行い、児童が自己有用感を高めながら、明るく楽しい学校生活を送れるようにする。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	書初め大会講師謝礼 @8,600 × 2 日	17,200
11-1	敬老大会（うちわ、折り紙）@37,000 × 1 回	37,000
11-1	幼小連携タイヤセット他 @1,000 × 20 個	20,000
11-1	書初め大会等材料費 @50 × 320 人	16,000

取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- 習熟度別少人数学習の有効活用や「さんさんタイム」実施・I C T の活用などにより、基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた取組みを行う。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	学びサポーター経費	130,000
11-1	プロジェクター用スクリーン @32,000 × 11 個	352,000

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- 課題に対して一人ひとりが意見をもち、交流を通して考えを深め合う指導方法や指導材の工夫を行う。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	理科特別授業講師謝礼 @16,120×3時間	48,360
8-1	日本の伝統楽器体験謝礼 @4,300×3人	12,900
8-1	宿泊行事付添看護師謝礼 @12,000×2日	24,000
9-5	4年生社会見学（科学館）教員旅費 @504×7人	3,528
9-5	5年生社会見学（ダイハツ）教員旅費 @378×6人	2,268
11-1	ビオトープ、鳥小屋管理費用	54,032
12-1	4年生社会見学（科学館）交通費 @224×106人	23,744
12-1	5年生社会見学（ダイハツ）交通費 @224×107人	23,968
14-1	4年生社会見学（科学館）入館料 @240×106人	25,440

取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

- 学校図書館・自動車文庫・学級文庫の活用や、ネット検索を活用した情報収集を行うなどし、授業に活用する。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-3	図書館図書購入 @1,450×100冊	145,000

取組内容⑤【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】

- さまざまな部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	教員研修講師謝礼 @7,100×2人	14,200
11-1	マークシート用紙 @15,000×2回	30,000
13	イーオン特別授業料	207,360

取組内容⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】

- 美化委員会が中心となって設定した美化目標を、集会やポスター掲示などで呼びかけ、学級ごとに、重点的に指導・実践していく。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	アクリル板（窓ガラス補修用）	40,000

取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- 児童の体力向上のため、休み時間の活動や遊びの工夫を行う。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	なわとび台補修材料費	15,000

取組内容⑧【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

- 給食週間や栄養指導等を通じて食への関心を高める。
- 手洗い重点週間を設けるなど手洗い指導を実践し、健康への関心を高める。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	給食配膳台 @51,000×8台	408,000

申請受付日
指導部で記入 → /

【様式 3 - 1】

(所属コード 651425)

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】	
全市共通目標（小・中学校）	
○平成 30 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 %以上とする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)	
○平成 30 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)	
○平成 30 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)	
○平成 30 年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)	
学校の年度目標	
○平成 30 年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（78 %）より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)	
○平成 30 年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（86 %）より向上させる。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)	
○平成 30 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)	
○平成 30 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を 80 %以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)	
○平成 30 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える保護者の割合を 80 %以上にする。 (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)	
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】	
全市共通目標（小・中学校）	
○平成 30 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 29 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率 3 割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 29 年度より減少させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成 30 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 29 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえればあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 29 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)	
○平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】	○ 異学年交流やたてわり班活動を通して、コミュニケーションスキルを高めるとともに、利他の心構えをもつことができるようとする。	
指標 児童集会での活動とともに、学期に1回、児童会の行事にたてわり班で主体的に活動する。		
取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】	○ 児童会活動や学級活動等で、『豊里っ子宣言』につながる取組みを行い、児童が自己有用感を高めながら、明るく楽しい学校生活を送れるようとする。	
指標 全児童が『豊里っ子宣言』が目指す学校づくりへの取り組みに1回以上参加する。		
29 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会等も含め、たて割り班での異学年交流を行うことができた。また、委員会活動や学級で児童が主体となった取り組みも行うことができた。 		
30 年度への改善点		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体となる取り組みについては、どういった取り組みが望ましいかを職員が考えていく必要がある。 		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度（今後）への改善点		

【様式 3 - 2】

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算 【**加算配付**】配付申請書

学校申請額 340,200 円

※本様式に加えて、様式 5-1 の提出が必要です。

◆取組内容・予算内訳

取組内容① 【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 【施策 2 道徳心・社会性の育成】								
○ 定期的に生後数か月から 1 歳の赤ちゃんとお母さんを講師として招き、子育ての中で、親の子どもに対する愛情を知り、自分も大切にされて育てられてきたということを感じ、自尊感情の育成をめざす。								
○ 赤ちゃんの表情や泣くことから感情を読み取ろうとするうちに他人のことを思いやる精神を身につけたり、コミュニケーション能力の向上を図ったりする取り組みを通して、いじめを許さない心を育む。								
予算内訳								
<table border="1"><thead><tr><th>予算費目</th><th>予算内訳明細</th><th>申請額(※円単位)</th></tr></thead><tbody><tr><td>13</td><td>赤ちゃん先生クラス開催費 (2年生約 60 名 × 2 5 回開催 2 時限／1 回)</td><td>340,200</td></tr></tbody></table>			予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)	13	赤ちゃん先生クラス開催費 (2年生約 60 名 × 2 5 回開催 2 時限／1 回)	340,200
予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)						
13	赤ちゃん先生クラス開催費 (2年生約 60 名 × 2 5 回開催 2 時限／1 回)	340,200						

大阪市立豊里小学校 平成 30 年度 校長経営戦略支援予算 【加算配付】配付申請書
(補足説明資料)

「赤ちゃん先生」の取り組みについて

1 児童の実態、課題

○校内に大きな荒れはなく、児童は学校生活や学習に対する取り組みは真面目に一生懸命に取り組んでいる。

⇒課題に真面目に向き合う

○H29「自分に良いところがあると思いますか」の肯定回答率は77%であるが、高学年になる程、割合は低くなる傾向にある。また、日々の言動などから、自他の尊重や自尊心・自尊感情の成熟といった精神面、情緒面での未成熟さが顕著に表れている児童が多くいる。そうした心の未成熟さが、学習や運動に対する取り組みにも大きく影響している。

⇒自尊感情について個人差が見られる

○遅刻、行きしづり、不登校が多く、基本的な生活習慣の確立が求められる。全教職員が同じ姿勢で家庭へ啓発し児童への指導を進める必要がある。

⇒基本的な生活習慣の確立

2 これまでの取り組み

○国語科を中心に自分の考えを話し、議論し合う中で解決のために複数で話し合って課題を解決する学習を展開してきた。また、体験的な学習を多く取り入れ、問題解決学習を展開してきた。

○あいさつ運動、「がんばりボックス」の設置など、互いの良さを認め明るく人と接する態度を養ってきた。

○児童全体と個別に日々声掛けを行い、家庭とも細やかに連絡をとりながら生活習慣の確立を図ってきた。

○平成26・27・29年と2年生を対象に「赤ちゃん先生」を実施した。保護者からは、ぜひ、継続して取り組んでほしいという要望が高い。

3 「赤ちゃん先生」プロジェクト（別紙P1参照）

○日本一ちっちゃな「赤ちゃん先生」が出張し、様々な課題を解決するプログラム
[期待できる効果]

- ①相手を思いやることのできる「共感力」を養う。
- ②命の尊さを知り、親への感謝の気持ちが芽生える。

本校児童の課題と照らし合わせて

考えると

相手も、自分も大切
命は大切、健康への関心
親への感謝
豊かな心の醸成
コミュニケーション能力の向上

↓
自尊感情の高まり
生活習慣の見直し
いじめをゆるさない

4 具体的な内容

- 2年生（127名）を対象
- 年間5回の授業を行う。
- 生後数か月から1歳の赤ちゃんとお母さんを講師として招き、子育ての中で親の子どもに対する愛情を知り、自分も大切にされて育てられてきたということを感じる。
- プログラムの流れ（45分授業 1回目）（別紙P6参照）
 - ①赤ちゃん先生についての説明
 - ②赤ちゃん先生登場、自己紹介
 - ③ふれあいタイム
 - ④赤ちゃんに学ぶワークタイム（手足・目・耳を自分と比べるなど）
 - ⑤赤ちゃんとお別れ
- [5回の流れ]（別紙P10参照）
 - I 自分はどれだけ大きくなったかな→II 学校のニーズに合わせ選択→III 泣いてもいいんだよ→IV 命の力→V みんなの未来

5 取り組みの成果

- 「赤ちゃん先生」の取り組みの成果は、次の年度目標の達成につながる。
- 平成30年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を前年度（78%）より向上させる。